

カミキリムシの被害防止に!

樹に架けるだけで長くよく効く微生物農薬

バイオリサ[®]

〈カミキリ〉

S L I M スリム

昆虫寄生性糸状菌 (ポーベリア・ブロンニアティ) 製剤

かんきつ

イチジク



カミキリを見つけたらすぐに使用 使い方はカンタン!! 樹に架けるだけ

- 本剤に触れたカミキリムシは有用菌に感染。1~2週間で硬直死します
- 生菌を使用。殺虫効果が長く持続します(約30日間)
- 産卵前に成虫を防除するので産卵数が減少。次世代の被害が少なくなります
- 安全性が高く、特別栽培農産物生産にも最適です

適用害虫および使用方法(抜粋)

平成19年3月現在

作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
果樹類	カミキリムシ類	1樹当たり1本	成虫発生初期	※	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける

●本剤は乾燥した冷暗所(約5℃)に保管してください。入手後はなるべく早く使いきってください。 ※使用回数は特に定めなし

本剤に触れるだけ。 産卵前に殺して、 被害の連鎖を断つ。

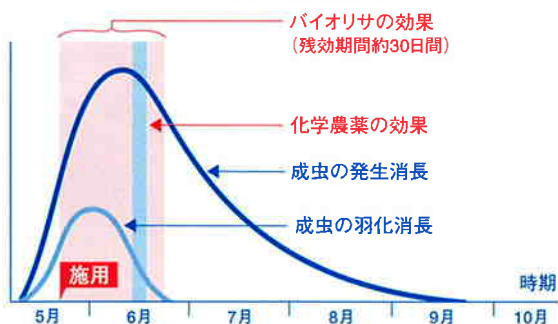


かんきつ類 ゴマダラカミキリ

使用時期 成虫の発生初期の5月下旬～6月中旬に、成虫を確認しだい施用してください。

ゴマダラカミキリは、約1カ月間に次々と羽化脱出しますので、駆除するためには、効き目の1カ月間有効な薬剤が必要です。バイオリサ・カミキリ〈スリム〉は、羽化直後のカミキリムシに感染して産卵以前に殺し、しかもその働きは羽化期間中持続します。それにより、次世代の幼虫被害や翌年の成虫発生を減少させるのです。

ゴマダラカミキリの発生と薬剤の有効期間

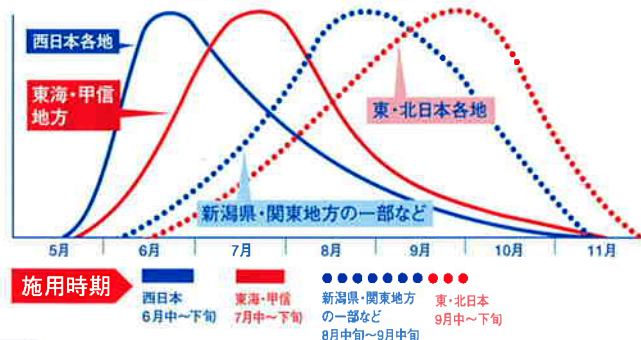


イチジク キボシカミキリ

使用時期 地域によって異なります。下記のグラフを参考にしてください。

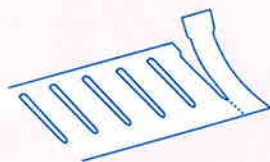
キボシカミキリは、5月下旬頃から現れ11月下旬頃まで生息しますが、地方によって発生時期は異なります。バイオリサ・カミキリ〈スリム〉の施用は、その地方の発生最盛期をねらって使用してください。また、キボシカミキリは比較的羽化期間が長いので、2回施用(1回施用:残効約30日)されると、よりいっそう効果的です。

キボシカミキリの各地方における発生消長



使用方法

樹幹の地際から高さ20～50cmの位置に、本剤を樹の太さに合わせて切断し全樹に施用します。1樹当たり1本が目安です。



袋から本剤を取り出し、端部の開いている側から1本ずつ切り離してください。



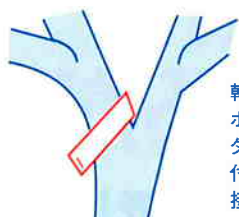
本剤は折りたたまれています。端部の開いている側からはがしてください。

菌のついている面(粉がついている面) 必要に応じて切断



ホッチキスを
用意する。

樹幹に、本剤を樹の太さに合わせて切断し、全樹に施用します。1樹に複数箇所施用すると効果的です。

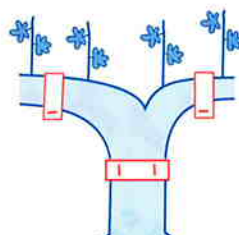


〈ネクタイ方式〉

幹に直接巻きつけ、ホッチキスでネクタイのように取り付ける。または、直接幹に打ち付ける。



〈直接止め方式〉



一文字整枝の例



開心自然形の例

*カラス等に本剤が取られる恐れがある場合には、ホッチキスで本剤を直接幹に打ち付ける方法がおすすめです。

使用上の注意

ラベルをよく読む。記載以外には使用しない。小児の手の届く所には置かない。

個包形態	サイズ(1本)		包装内容	本数(箱)
	大箱	小箱		
	幅2.5cm×長さ50cm		50本/袋×10袋入	500本
			50本/袋×2袋入	100本

製造販売 出光興産株式会社 アグリバイオ事業部
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-6-1
TEL.03-3829-1457 ホームページ/ <http://www.idemitsu.co.jp/agri>

お問い合わせは



サンケイ化学株式会社

本社 〒891-0122 鹿児島市南栄2-9 ☎099(268)7588(代)
九州北部営業所 〒841-0025 鳥栖市曾根崎町1154-3 ☎0942(81)3808
宮崎事務所 〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19 ☎0995(25)7051